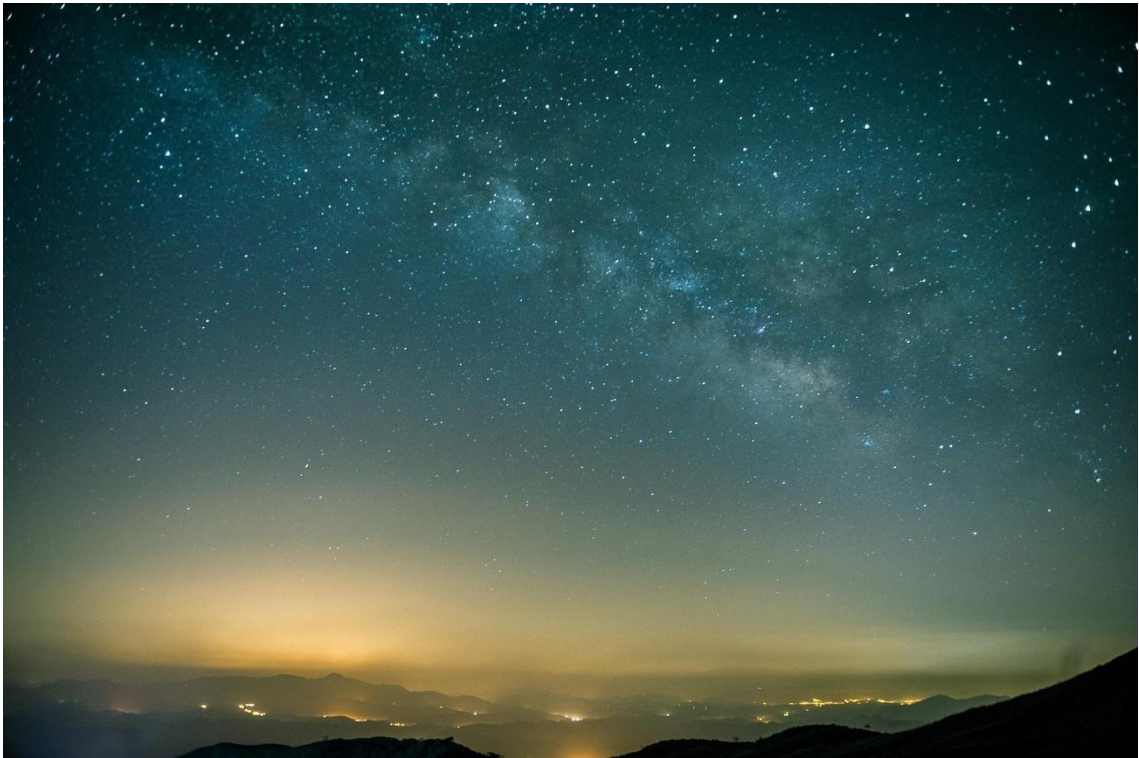


■ 昔からあるちょっと難しいことを考えてみる

修正： 2025.02.01

投稿： 2025.02.01



● 昔からあるちょっと難しいことを考えてみる①

「輪廻」と聞くと、生まれ変わりのことか？

と思われるかもしれませんが、輪廻とは、
同じようなところをぐるぐる廻ることであり、
その輪廻から抜け出すことを解脱と言います。

「生まれ変わる」というのも、確かに、
同じようなところをぐるぐる廻る現象の一つで、
その意味では輪廻であり、輪廻転生とされています。

その生まれ変わりの輪の中から抜け出そうと、
何とか頑張って解脱を試みる、
というのが仏教の目指すことの一つです。

「もしも生まれ変わっても、また私に生まれたい♪」

という歌がありますが、確かに、
どうせ生まれ変わるなら、自分がいいような気がします。が、

別に生まれ変わらなくてもいいのであれば、
そもそも生まれ変わるなんてまじゴメンです。
よく考えてみてほしいところですが、生まれ変わりとは**ループ**です。

みんな自分の人生の中で、少しでも裕福になろうと、
いい学校へ行っていていい会社に入ると、勉強し努力していますが、
輪廻転生となると、これを**繰り返す**ことになります。つまり、

誕生→いい学校→いい会社→いい老人ホーム→いい死後世界
誕生→いい学校→いい会社→いい老人ホーム→いい死後世界
誕生→いい学校→いい会社→いい老人ホーム→いい死後世界
誕生→いい学校→いい会社→いい老人ホーム→いい死後世界
誕生→いい学校→いい会社→いい老人ホーム→いい死後世界
誕生→いい学校→いい会社→いい老人ホーム→いい死後世界
誕生→いい学校→いい会社→いい老人ホーム→いい死後世界
誕生→いい学校→いい会社→いい老人ホーム→いい死後世界
...

という感じですが、これを**永遠**と続けたいでしょうか？
生まれ変わりなんて想像しただけでもぞっとします。

アニメ「涼宮ハルヒの暴走」で、
エンドレスエイトという何度もループする伝説の回がありますが、
あの感覚に近いかもしれません。

生まれ変わりなんて死んでもゴメンです。

(続)

//=====//

●昔からあるちょっと難しいことを考えてみる②

「せっせと働くだけなら、ただの蟻と一緒にである。
問題は何のために働くかだ！」という主張を目にしたのですが、
「人間とは考える蟻である」といったところでしょうか。
そういえば、俺は何のために働いているんだロウ…。

//-----

さてさて、本題ですが、

世界には「**偶像崇拝は禁止!**」とする宗教があります。

「**なぜ禁止するのか?**」を知ってますでしょうか?

…。

いろいろ理由はありそうですが、主に単に真実と異なるからです。

そもそも「**神様**」とは**抽象的で分かりにくい概念**です。これを、
学校教育も受けていない当時の人々に理解してもらおうとすると、
例え話も交えて、よほど分かりやすく説明しなければ伝わりません。
そうして、神様の**擬人化**まで行いました。

しかし、分かりやすく説明するということは、
真実と異なる内容が含まれるということです。
本当に「神様とは何ぞや！」と追求していくことになれば、
難解な数式が登場します(数式は情報の密度が高くて便利！)。

しかし、当時の日々の生活で精一杯な民衆にとって、
そんなものを理解する余力はありません。ゆえに、
あえて事実とは異なる分かりやすい説明を行います。
ただしそれは、事実とは異なっていますから、
そうした点に配慮し、「偶像崇拜は禁止！」とするわけです。

宗教にも目的がありますから、一つ一つの規則には、
割と**現実的**な理由があったりします。

例えば、女性が素肌を隠すのは、男性の性欲を刺激しないためです。
なぜそうしなければならないかという、昔は、
犯罪者を捕まえることが極めて困難だったからです。
ようは、「**自分の身は自分で守れ！**」ということです。

(続)

//=====//

●昔からあるちょっと難しいことを考えてみる③

多くの宗教で「**自殺すれば地獄に墜ちる**」
ということが説かれています。つまり、
「**自殺してはいけない**」ということです。
ではなぜ自殺してはいけないのでしょうか？
…。

「生きていれば、そのうちいいことがあるから、
頑張って前向きに生きていこう！」

という主張が多いですが、そもそも宗教とは、
国家のためにあるようなものですから、国家の視点で考えてみると、
国民がバンバン自殺する国であっては困りますから、
自殺はダメだと説く背景が分かります。

また、一個人の視点で考えてみても、
自殺は避けるべきということが言えます。というのも、
基本的に、感情的になってとった行動は、
感情が冷めたときに後悔するものだからです。
(これは自殺に限らず何でもです)

つまり、自殺するとその後おそらくあなたは後悔する、
だから自殺は良くない、という話です。
(時間を拡張しており、死後世界が概念として入ります)

ゆえに、もう十分に生きて人生に満足しており、
「自殺しても絶対に後悔しない」と言い切れるのであれば、
その自殺を否定する理由はありません。

そのような自殺として、
例えば「安楽死」がこれに相当します。

(続)

//=====//

●昔からあるちょっと難しいことを考えてみる④

「宗教」と「科学」は対立関係にある、
ように思われがちですが、別にそんなことはありません。
ただし、密接に**影響**してはいます。

「**リンゴが木から落ちる**」で有名なニュートンですが、
彼が発見したものは重力ではなく万有引力です。

実は重力については随分と前から知られていました。しかし、
なぜ上から下に一定の力が働くかはよく分からないままです。
そこで、この不思議な力は、宇宙が**中心**へ向かおうとする力だ、
と考えたのが哲学者のアリストテレスです。そうして、

地球の中心(重力の中心)を宇宙の中心とする**天動説**で
重力を説明し宇宙を捉えようとしていました。しかし、
天体観測の**技術**が向上し、天動説より**地動説**で
取り扱った方が天体の動きを計算しやすいという状況になり、
実は宇宙は地動説ではないかという論争が起こり始めます。

仮にそうであっても、**重力**の件があるので、
理論の点において、そう簡単に天動説から地動説に
パラダイムシフトすることはできません。

(人は証拠より論です)

そんな中、ニュートンによって、
あらゆる質量のあるものには引力が働いており、
それぞれが中心を持っている、
という万有引力の**理論**が構築されたことで、
天動説から地動説へと**シフト**されていったのです。

実はこの地動説へのシフトでは、宗教も影響を受けています。
というのも、当時は、宇宙は神聖な空間だと捉えられていたためです。
それが、地球上の物理法則と同じ法則が働いている、
となれば、別に神聖な空間ではなくなり**信仰対象からも外れます**。

宗教色が濃かったフランスは、

万有引力の理論をなかなか受け入れられませんでした、
イギリスはとっとと受け入れ、
戦争に強い国となっていきました。

宗教はこんなところにも影響しているのです。

(完)

//=====//

Web サイト：

心を力学する ー原理・原則に基づく生き方を考えるー

著者：

時無 和考(Tokinashi Kazutaka)